

2021年度  
第42回

# 人権・同和問題 企業啓発講座

SNS

山口 真一さん  
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授

部落問題

坂田 かおりさん  
部落解放同盟米子市協議会議長・人権テイク・ルート代表

部落問題

高橋 典男さん  
NPO法人 人権センターながの 事務局長

新型コロナ

岡田 行雄さん  
熊本大学大学院 人文社会科学部教授

ジェンダー

赤石 千衣子さん  
NPO法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長

環境

藤川 まゆみさん  
NPO法人 上田市民エネルギー理事長

障害者雇用

黒木 均さん  
Peach Aviation株式会社 エンployイーリレーション部 ほなやろ課 課長



木村 響子さん  
NPO法人 REMEMBER HANA (設立準備中)

ネットの誹謗中傷をなくしたい  
花が望んだやさしい世界を思いながら

2021年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から、  
講座をオンラインで実施します

第1部 2021年 10月14日(木) ▶ 10月28日(木)  
午前10時から 17時まで

第2部 2021年 10月29日(金) ▶ 11月12日(金)  
午前10時から 17時まで

受講料(1人分)  
第1部・第2部 併せて  
8,000円(税込み)  
第1部・第2部 のいずれかのみ  
4,000円(税込み)

各4講座 計8講座 (各講座70分程度) 上記期間中に専用ホームページで動画を視聴いただけます。

主催 人権・同和問題企業啓発講座実行委員会



## データが示す誹謗中傷のメカニズムと適切な予防・対処策

やまくち しんいち  
山口 真一さん

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授

昨年、女子プロレスラーの木村花さんがネットの誹謗中傷を苦に亡くなる、悲しい事件が起きました。また、コロナ禍において感染者差別等が多く発生しており、2020年のネット炎上件数は1,400件を超えました。このようなネットの誹謗中傷について、①誰がなぜ書き込むのかという実態、②我々ができる予防・対処方法、③社会としての適切な対処策、の3点を考えます。

### プロフィール

1986年生まれ。博士(経済学)。専門は計量経済学、ネットメディア論、情報経済論等。NHKや日本経済新聞等のメディアに多数出演・掲載。主な著作に『正義を振りかざす「極端な人」の正体』(光文社)等がある。他に、東京大学客員連携研究員、シエンブレ株式会社顧問、日本リスクコミュニケーション協会理事等を務める。

## 講座 1



## 母娘で問うた部落差別

さかた  
坂田 かおりさん

部落解放同盟米子市協議会議長・  
人権テイク・ルート代表

子どもたちが社会に出て、差別に直面していく…。職場での人権研修もされているはずなのに…。刷り込まれたままになっている偏見、差別意識が誰かを傷つけ、心を閉ざせていたとしたら…。コロナ禍の中、人と人とが距離を置き、互いに分断してしまいうような状況だからこそ、出逢いとつながりを大切にしたいものです。

### プロフィール

部落差別発言を受けた体験から、2002年、自らが啓発することで差別をなくしたいと決意。米子市の相談員として同和地区住民の生活相談にも従事し、日本人と結婚して地区に暮らすフィリピン女性のための「識字・日本語教室」を始めたりもした。2012年に相談員を退職するも、部落差別をはじめ様々な差別・人権問題をテーマに講演を続けている。

## 講座 2



## 患者と医療従事者の人権保障に基づくあるべきCOVID-19対策

おかだ ゆきお  
岡田 行雄さん

熊本大学大学院人文社会科学部教授

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、患者と医療従事者の人権保障がいかにこの国で欠けていたかを浮き彫りにしています。ハンセン病者やその家族への様々な人権侵害を引き起こした「らい予防法」の教訓に学び、患者と医療従事者の人権保障に基づくあるべきCOVID-19対策とは何かをみなさんと一緒に考えたいと思います。

### プロフィール

1969年長崎市生まれ。1991年九州大学法学部卒。1996年九州大学法学部助手等を経て、2008年熊本大学法学部准教授、2010年同教授を経て、2017年から現職。小・中・高でのいじめや体罰に腹を立て、少年法研究を進めつつ、「らい予防法」がもたらした人権侵害の克服にも関心を持って研究を進めています。

## 講座 3



## エネルギーのあり方が人権を守る、未来をつくる

ふじかわ  
藤川 まゆみさん

NPO法人上田市民エネルギー理事長

エネルギーは人権を踏みにじってきた歴史があります。石油が出た国や地域には搾取や戦争が起こり、原発事故は人々の安心な暮らしや故郷を奪います。気候変動はCO2排出の少ない開発途上国に多く災害を起し、地球上の将来世代の未来を奪いつつあります。人権が守られる未来に向けてエネルギーのあり方の変革が必要です。

### プロフィール

NPO法人上田市民エネルギー理事長。長野県上田市在住。ドキュメンタリー映画がきっかけでエネルギーがライフワークに。3.11以降、市民出資型太陽光発電所「相乗りくん」を展開。現在発電所は55カ所約860kW、市民出資総額は約1億6,000万円。H30環境大臣賞受賞。他に断熱DIYワークショップやコンパクトなまちづくり活動など。

## 講座 4



## ネットの誹謗中傷をなくしたい ～花が望んだやさしい世界を思いながら

きむら きょうこ  
木村 響子さん

NPO法人 REMEMBER HANA (設立準備中)

最愛の娘・花を亡くしたとき、私も心を失ったような状況になりました。ネットの誹謗中傷をなんとかしなければという多くの人の声があがり、法律も少しずつ変わろうとしています。これ以上、誰かに被害者にも加害者にもなってほしくありません。花が望んだやさしい世界に近づけられるように全力で動きたい。それは同時に私の生きる理由でもあります。

### 講座 1

#### プロフィール

娘・花が望んだやさしい世界をつくるため、ネット上の誹謗中傷や人権侵害に関し、弁護士と一緒に自民党の会合への出席、メディアの取材、講演等を通じて、被害者救済の法制度の整備、誹謗中傷が重大な犯罪であることなどの訴えを行う。NPO法人を設立し、誹謗中傷の被害者にも加害者にもさせない、インターネットを笑顔で使える未来を目指す。



## 伝えたいこと、部落問題、 その現実から～私が問われたもの

たかはし のりお  
高橋 典男さん

NPO法人 人権センターながの 事務局長

日々の相談・支援から見えてくる部落差別の現実。明らかにならない(できない)部落の若者の結婚問題などに関わる中で、「部落はマイナスの存在」と思われている部落の若者が「自身の大切な部落」と出会っていく。その過程と私自身が問われてきたことを伝えたい。私にとって部落とは(あなたにとって部落とは)を考えてみる機会になればと思います。

### 講座 2

#### プロフィール

NPO法人人権センターながのの事務局長。設立は2003年。従来のやり方や体制に依存せず、「関係性を創る」をテーマに「とにかくやりながら考えまた実践しよう」をスタンスに独自の活動をしてきた。なかでも部落問題の相談・支援事業では、発見型相談・支援(「自覚」)・継続・相談者から支援者へという観点での取組みを大切にしている。



## コロナ禍の中のシングルマザーと子どもたち ～支援・施策の課題

あかいし ちえこ  
赤石 千衣子さん

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長

雇用の悪化や収入の減少、食料・衣料・教育機器の不足など、平時の不利益にコロナ禍の不利益が重なり、深刻な打撃を受けているシングルマザーと子どもたち。緊急支援の取り組みから見えてきた現状と、支援・施策の課題、共同養育・共同親権の法制化の流れの中で懸念される母子へのDV・虐待の危険性などについて考えます。

### 講座 3

#### プロフィール

当事者としてシングルマザーと子どもたちが生き生きらせる社会をめざして活動中。社会福祉士。社会保障審議会ひとり親家庭への支援施策の在り方に関する専門委員会参考人。法制審議会家族法制部会委員として、共同養育に慎重な立場からひとり親の声を届けている。著書に『ひとり親家庭』(岩波新書)、編著に『災害支援に女性の視点を』など。



## 多様な働き方と人材の中で進める 障がい者雇用のあり方

くろき ひとし  
黒木 均さん

Peach Aviation株式会社  
エンployーリレーション部ほなやる課 課長

新型コロナウイルスの感染拡大は、単に医療分野のみではなく、「働くこと」「生きること」「関わること」など、たくさんのシーンに急激な変化をもたらしました。

多様な生き方がある時代に、多様な人材の働きやすさの中でも、今回は障がいや特性のある人材を起点に考えます。

### 講座 4

#### プロフィール

元特別支援学校教諭、特別支援教育コーディネーター勤務を経て、2018年にPeachへ入社。障がい者雇用の促進や入社後の体制構築を担当。現在では、自社他社問わず、管理職研修や障がい福祉スタッフの専門性向上研修においてダイバーシティ関連の講義や啓発を行っている。

## オンライン受講の要領

- 講座の受講(視聴)には、パソコン、インターネット環境、ホームページを見るためのブラウザが必要です。カメラやマイクは不要です。
- **第1部 2021年10月14日(木)午前10時から10月28日(木)17時まで、  
第2部 2021年10月29日(金)午前10時から11月12日(金)17時まで**  
の各期間中に、4つずつの講座を受講ページで動画配信します。
- あらかじめお送りするID、パスワードで受講ページにログインし、受講(視聴)いただきます。ご都合のよい時間帯に視聴いただけます。
- 各講座の資料(PDFファイル)は受講ページからダウンロードいただけます。必要に応じてプリントアウトしてください。  
※申込み頂いた方には、より詳しい受講要領をお送りします。  
※配信は動画共有サイトVimeo(ビメオ)を利用します。  
※ウェブブラウザInternet Explorerはお使いいただけません。  
※受講にあたって支援が必要な場合など、事務局にご相談ください。



## 受講申込みと支払い方法

### ① Peatixのサイトから

右記のPeatixのウェブサイトでお申込みください。  
お申込みから支払いまで完了できます。

Peatix

<https://kigyokeihatsu.peatix.com>



### ② 講座ホームページから

部落解放・人権研究所のホームページ内の「最新の講座・イベント」にあります「第42回人権・同和問題企業啓発講座」をクリックし、内容欄の「参加申込フォーム」からお申込みください。

併せて、下記の口座に受講料をお振り込みください。(加盟団体に集金や支払いをされる場合を除きます。)

りそな銀行 桜川支店 普通0088854  
人権・同和問題企業啓発講座実行委員会  
(ジंकンドウワモンダイキギョウケイハツコウザジツコウインカイ)

部落解放・人権研究所  
ホームページ



## 人権・同和問題企業啓発講座実行委員会

(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(一社)関西経済同友会、近畿総合通信局、近畿財務局、近畿厚生局、近畿農政局、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、独立行政法人造幣局、大阪労働局、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会、大阪府市長会、大阪府町村長会、大阪府都市教育長協議会、大阪府町村教育長会、大阪企業人権協議会、大阪同和人権問題企業連絡会、(一財)大阪府人権協会、(一社)部落解放人権研究所 (順不同)

## お問い合わせ

### 人権・同和問題企業啓発講座 実行委員会 事務局

一般社団法人 部落解放・人権研究所

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階  
**TEL.06-6581-8596 FAX.06-6581-8540**  
E-mail : [keihatsu@blhri.org](mailto:keihatsu@blhri.org) ホームページ:<https://blhri.org>

大阪府商工労働部 雇用推進室労働環境課

〒540-0033 大阪市中央区石町2-5-3 エル・おおさか南館3階  
**TEL.06-6210-9518 FAX.06-6360-4751**